

2024 年度 けやき福祉会事業計画

●法人●

- ・2023 年度の事業計画として「実践報告会（仮称）」の開催の検討を立てましたが、その準備に至りませんでした。そのため、改めて「実践報告会（仮称）」につきまして開催できるように検討を行います
- ・業務の無駄・ムラを改善できるよう、省力化を図ります

目標：「お互いの事業の理解を深めよう」

●けやきの家●

指針

- ・新しい活動を継続し、活動の中で本人が意欲的に取り組めるようサポートしていきます。
- ・限らせたスタッフの中であっても安定した支援が行えるよう努めます。

目標：新しい活動の安定

●輪来工房●

指針

- ・利用者の新たな一面を見つけていきます。
- ・室外での活動だけでなく、屋内での活動の機会を作り、本人に合った輪来工房の充実した1日のリズムを探していきます。

目標：活動の充実をめざす

●第1 けやきホーム●

ホームでは、一人で対応することも多くそれぞれの利用者さんが今何を求めているのか？今どうしてほしいのか？など、その場にいるスタッフがしっかり考えて行かなければなりません。「見て」「感じて」「考えて」「実行」する必要があります。

2024 年度は、「支援のプロであれ！」を目標にし それぞれがプロ意識をもって支援を行います。

目標：「支援のプロであれ！」

●れすば●

「れすば」の支援は居宅介護は日々の見守りになりますが、外出を中心にほとんどが余暇活動になります。その余暇活動の中でも、何でも自由にやってよいわけではなく、地域の中で過ごしていくためのルールを楽しみながら学び育てる支援ができるとよいと考えます。そこには何度も何度も繰り返し伝えていくことや、繰り返すことで覚えていくことなどをヘルパーと利用者さんが一緒にその時間をはぐくんでいきたいと考えています。

目標：「一緒に楽しみ、一緒に挑戦」

●れすば～さくら館●

- ・進学や進級に伴い新たな環境に順応できるようにサポートしていきます。

目標：「子どもの表情や行動の根っこにあるものを考えよう」

●こんぱす●

- ・引き続き他事業所と連携し情報を共有し、ご本人とご家族の希望される暮らしを実現できるような障害福祉サービスの提案をします
- ・営業日・営業時間が変更となりますが、他の事業所（部署）との連携に努め、これまでと変わらない支援が行えるようにします

目標：連携・迅速対応・スキルアップ

●管理部●

入社1年のスタッフさんが、よりけやき福祉会を知ってもらうために、去年は事務の基本についてを学んでいただきました。今年度は各事業所の特徴をとらえ、いろいろ違った形態の法人内事業所を基本から知ることにより良い事務サポートができると考えました。

目標：「各事業所の基本を知ろう！」